

神奈川県立生命の星・地球博物館 (KPM) 収蔵標本および画像資料から 見出された『長野県植物目録 (2017 年版)』に追加すべき種

石田 祐子 *

はじめに

『長野県植物目録 (2017 年版)』発刊後、いくつかの現地調査および標本調査の結果、長野県のフロラに追加すべき種が報告されている。今回、神奈川県立生命の星・地球博物館 (KPM) において標本調査および画像資料調査を行ったところ、さらに追加すべき種を見出したので報告する。

追加する種

さく葉標本

1 マルバシモツケ

Spiraea betulifolia Pall. var. *betulifolia* (バラ科) 図 1

亜高山帯から高山帯の岩場や林縁に生育する落葉低木で、国内では北海道と本州（中北部）に分布する。本州では、東北地方および新潟県、北関東（群馬県、栃木県、茨城県）に分布している（上野 1991）。このうち、茨城県では標本記録があるものの絶滅したと考えられている（茨城県生活環境部環境政策課 2013）。近隣県の石川県（石川植物の会 1983）、富山県（石澤ほか 2021）には記録がない。また、岐阜県（岐阜県植物誌調査会 2019）、山梨県（小林 2019）、静岡県（杉本 1984）にも記録がないことから、長野県の以下の産地は南限となると考えられる。

標本：長野県木曽駒ヶ岳黒川発電所～中御所谷～千丈敷 1955.8.20 KPM-NA0025484.

2 テマリツメクサ

Trifolium aureum Pollich (マメ科) 図 2

ヨーロッパ原産の越年草で、1984 年に栃木県那須地方で採集された（秋山 1985）。クスマツメクサによく似ているが、クスマツメクサは葉の頂小葉に明らかな柄があるのに対し、本種は頂小葉に柄がない。植村ほか（2015）では、栃木県その他、北海道、青森県から報告があり、山梨県や長野県でも



図 1 マルバシモツケ KPM-NA0025484

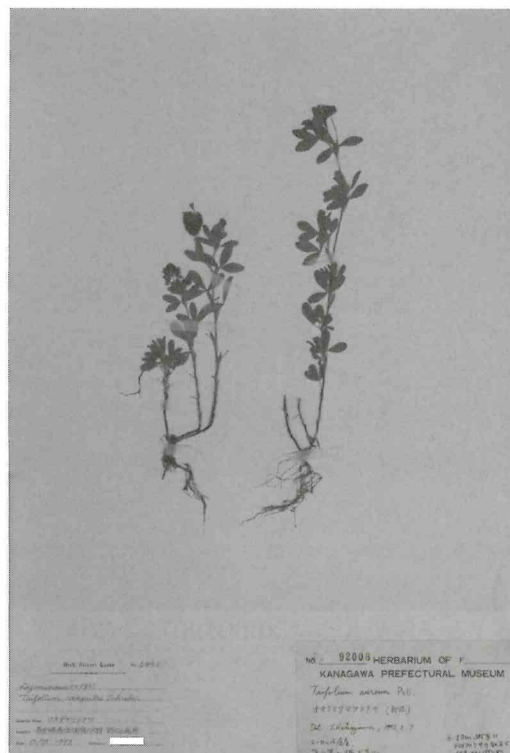


図 2 テマリツメクサ KPM-NA0092008

* 神奈川県立生命の星・地球博物館

〒250-0031 神奈川県小田原市入生田 499

採集されている」とある。今回、KPM から標本が確認できたので報告する。

標本：長野県南佐久郡南牧村野辺山高原 1992.7.12 KPM-NA0092008, 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原木戸池周辺 2002.7.16 KPM-NA0123026.

3 ヒエスゲ

Carex longerostrata C.A.Mey. var. *longerostrata*

(カヤツリグサ科) 図 3

草原や林縁に生育し、北海道、本州中部以北に分布する (勝山 2015)。すげの会 (2018) では、TNS や CBM-BS の標本 7 点が引用されている。今回、KPM でも確認できたので報告する。

標本：長野県松本市美ヶ原 1975.5.** (日付不明) KPM-NA0058731.

4 キンキカサスゲ

Carex persistens Ohwi (カヤツリグサ科) 図 4

本州の中国・近畿・北陸地方、岐阜県および長野県に分布する (すげの会 2018)。すげの会 (2018) では、KPM-NA0008890, KPM-NA0073954 の 2 点の標本が引用され、「多分東限産地ではないかと思えます (勝山).」と記述がある。

カサスゲに似るが、花柱が細長く濃褐色で果時にも宿存し、茎の基部の葉鞘に暗赤紫色の部分がない。カサスゲが平地の池畔や湿地に生育するのに対し、本種は山地の河畔や湿地、溪流のほとりなどに生育する。

標本：長野県下伊那郡立石 1958.5.9 KPM-NA0008890, 長野県飯田市大平 1976.6.4 KPM-NA0073954

維管束植物画像資料

1 ヤラメスゲ

Carex lyngbyei Hornem. (カヤツリグサ科) 図 5, 6

北海道や東北地方北部では塩湿地や湖沼の水辺、本州中部では高層湿原に生育する (勝山 2015)。すげの会 (2018) では、中部地方では新潟県と岐阜県を産地とする標本が引用されているが、長野県の分布点はなかった。しかし、生命の星・地球博物館の田中徳久学芸員と本種について話していた所、長野県小谷村にある梅池自然園で同博物館名誉館員の勝山輝男氏とともに見た記憶があると情報を頂いた。勝山氏に確認した所、生態写真をご提供いただけたので報告する。

画像資料：長野県北安曇郡小谷村梅池自然園 勝山輝男撮影 2019.7.29 KPM-NX0001907A, KPM-NX0001907B

謝辞

本稿作成に当たり、神奈川県立生命の星・地球博物館名誉館員の勝山輝男氏には貴重な資料をご提供頂いたほか、各種の情報や同定ポイント等をご教授頂いた。同博物館の田中徳久氏には、ヤラメスゲの情報を提供頂いた。長野県植物研究会の藤田淳一氏にはマルバシモツケの標本同定についてご助言を頂いた。また、田中徳久氏、藤田淳一氏、IGES 国際生態学センターの矢ヶ崎朋樹氏には貴重な文献をご提供頂いた。記して感謝申し上げる。

引用文献

- 秋山 忍 (1985) 那須地方で見いだされた *Trifolium aureum* Pollich. 植物研究雑誌第 60 巻 第 8 号 31-32.
- 岐阜県植物誌調査会 (2019) 岐阜県植物誌, 32+934pp., 文一総合出版, 東京
- 茨城県生活環境部環境政策課 (2013) 茨城における絶滅のおそれのある野生生物 植物編 2012 年改訂版 (茨城県版レッドデータブック), 263pp., 茨城県生活環境部環境政策課, 水戸.
- 石川植物の会 (1983) 石川県植物誌, 26+227pp., 石川県, 金沢.
- 石澤岩央・太田道人・大原隆明・中田政司 (2021) 富山県植物誌改訂版編集のための維管束植物チェックリスト, 136pp., 富山県植物誌改訂版編集委員会, 富山.
- 勝山輝男 (2015) 日本のスゲ 増補改訂, 391pp., 文一総合出版, 東京.
- 小林 岳 (2019) 山梨県植物分布誌, 1364pp., 小林 岳, 大月.
- 長野県植物目録編纂委員会 (2017) 長野県植物目録 (2017 年版), 256pp., 長野県植物誌編纂委員会, 長野.
- 杉本順一 (1984) 静岡県植物誌, 4+814pp., 第一法規出版, 東京.
- すげの会 (2018) 日本産スゲ属植物分布図集, 766pp., すげの会.
- 植村修二・勝山輝男・清水矩宏・水田 光雄・森田 弘彦・廣田 伸七・池原 直樹 (2015) 日本帰化

植物写真図鑑 第2巻 (Plant invader 500種): 上野雄規 (1991) 北本州高等植物チェックリスト,
増補改訂, 595pp., 全国農村教育協, 東京. 365pp., 東北植物研究会, 白石.